

平成 24 年 5 月 2 日
総合政策局海外プロジェクト推進課

奥田国土交通副大臣のインド出張について（結果概要）

奥田国土交通副大臣は、下記のとおりインドを訪問いたしました。

記

1. 日インド閣僚級経済対話への出席

本対話では、インドにおけるインフラ開発として、デリー・ムンバイ間産業大動脈構想(DMIC)、チェンナイ・バンガロール間の統合開発マスタープラン、貨物専用鉄道計画(DFC)、高速鉄道計画構想等について協議を行いました。

奥田副大臣からは、高速鉄道構想について、前田国土交通大臣のインド訪問と、同訪問の際に実施した高速鉄道に関するセミナーの成果について紹介しました。クリシュナ外相はじめインド側からは、日本の新幹線技術の導入に高い関心が示されました。

また、チェンナイ・バンガロール間の統合開発マスタープランについて、インド南部では進出する日本企業数が大幅に増加しており、インド各地の日本企業関係者から要望のある、道路、港、電力、工業用水等のインフラ整備についての改善について求めたところ、問題の解決に向けて具体的な成果を出すべく双方で協力することについて認識の一致を見ました。

2. 関係省庁との面談

(1) プラサダ道路交通省閣外大臣

道路分野における両省の協力関係強化を加速させることで一致しました。プラサダ閣外大臣からは、訪日して日本の高速道路を視察したい旨の発言がありました。また、デリー近郊における高架道路の整備手法や、ITを活用した交通安全対策、渋滞対策及び料金収受についての関心が表明されました。

(2) ミッターインド国鉄総裁（鉄道省次官）

インドにおける高速鉄道構想、DFC、在来旅客線高速化プロジェクト等、幅広い分野について意見交換を行いました。その結果、高速鉄道分野における次官級会議の早期開催をはじめ、鉄道全般にわたり両国の協力関係を深化、緊密化していくことで意見が一致しました。

(3) ロイ都市開発省閣外大臣

毎年開催されている「都市開発に関する日印交流会議」（本年度第6回としてインドで開催予定）等を通じた、両省の協力関係の継続、強化で一致しました。さら

に先方より、ITS（高度道路交通システム）及び都市モノレールの整備などについて関心が表明されました。

（４）シンハ海運省次官

インド南部における港湾整備やグジャラート州におけるシップリサイクルプロジェクトについて意見交換を行いました。また、インドにおける物流全般の改善策について対話の場を設けることで一致しました。

（５）サハイ観光大臣

日印国交樹立60周年という記念の年を踏まえ、日印間の観光交流の一層の促進に向けて協力していくことで一致しました。

連絡先：総合政策局海外プロジェクト推進課 担当者：山本 電話：03-5253-8111（内線 25807） 直通：03-5253-8315 担当者：武田 電話：03-5253-8111（内線 25913） 直通：03-5253-8318
--